

# 通信小海

「創造者を覚えよ」

牧師 荒<sup>あらし</sup><sup>もみ</sup> 実<sup>まこと</sup>

今から約3000年前、イスラエルの国をソロモン王が治めていました。ソロモンは、この世界を創造された神様から知恵を与えられた王であり、多くの富と偉大な事業を成し遂げた王として有名です。彼の知恵にはシバの女王が驚嘆したほどです。ソロモンは、あらゆるものを手に入れ、人間としてできることは何でも実行した王でした。しかし、最後に彼は虚しさを告白しています。創造者を離れては何も益となるものはないことを彼は悟るのでした。そして、後の人々に助言しました。「あなたの若い日に、あなたの創造者

【今月のみことば】

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」  
伝道者の書12章1節

を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また、何の喜びもないと言う年月が近づく前に。」私たちは、彼の助言をどう受け取ったらいいのでしょうか。すべてを知っておられ、公平に報いてくださる創造者がおられると聖書は教えています。生きている者もすでに死んだ者も、みな裁かれる日が来ます。その時、それぞれがした事に対する報いが与えられるのです。

神様はいつも、「今、あなたはどのようにしますか」と尋ねられるのです。明日ではなく、今日です。神様の存在を認め、創造者と共に生きる決断をして行くことではありませんか。そこから本当の喜びと恵みに満ちた人生が始まるのです。遅すぎることは決してありません。気づいた時が決断の時です。新しい年、思いを新たに、全世界を創造された

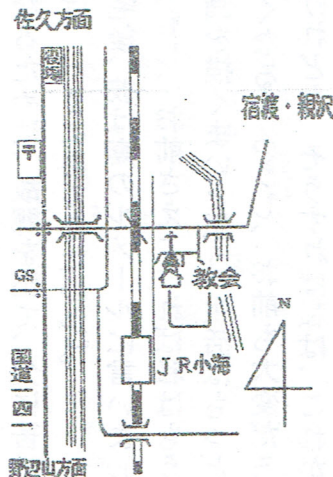
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・一一〇二 電話0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

## 見晴台の教会へどうぞ



## 集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半  
夕礼拝 午後八時から九時

\*海尻・川上で家庭集会を実施。詳細は教会HPでご確認ください。\*個人的な聖書勉強や個人的な相談にも乗ります。

\*初めての方も遠慮なくお越しください。  
(金) 28:00から聖書の学びをしております。

教会 HP (小海キリスト教会で検索) [http://church.ne.jp/koumi\\_christ/](http://church.ne.jp/koumi_christ/)ぜひご覧ください!!

お方と共に生きること選択してください。

神様は、ひとりひとりにご計画をもつておられ、わざわざではなく、祝福を受け取って幸いな人生を送って欲しいと心から望んでおられるのです。

この地上を去る時に、あの時、こうしておけば良かったと後悔することがないように、自分にも家族にも益となる道を選びましょう。過去は変えられません、未来は変わるのです。すべてをご支配されている神様に与えられた人生をおゆだねしましょう。

創造者を覚える時、物事の見方、捕らえ方が変わります。すべての事には意味があり、目的が必ずあることが分かるようになります。求め続けるならば必ず真理を見出すことになるのです。教会は、あなたが幸いな人生を歩む助けになりたいと祈っています。是非、一度教会にお越しください。お会いできる日を楽しみにしております。



## 連載

### 信仰の眼で読み解く絵画

岡山 敦彦 【著】

#### 第二章 ミレー

〜農民画家としての信仰の生涯〜

③

ミレーにとっては二度目の結婚生活の始まりでしたが、相変わらず貧しい生活を強いられました。画家は、自分の作品が売れ始めてこそ、生活が安定してきます。

ミレーは生活のために裸体画を描き始めました。彼ほどの技量があれば、世俗の人たちが好む裸体画を描くことはそれほど難しいことではなかったでしょう。画家仲間達はミレーのことを裸体画の大家と呼ぶようになっていきました。そのような時、彼が裸体画から決別する決心をする事件がありました。



ある夜、ミレーは自らが描いた「浴女たち」が飾られている画廊の前を通りかかりました。それを眺めている二人の若者の会話が彼の耳に入ってきたのです。「この絵画の画家を知っているか」「ああ、裸の女しか描かないミレーという画家だ」。

その会話を聞いた時、彼は一瞬はっとして、自分の心をナイフで突き刺された思いになったのです。「自分はそんな画家になるために、故郷を出て、父に苦勞をかけ、パリに出てきたのか」。

帰宅後、彼は妻のルメールに言いました。「もし、お前さえよければ私はもう裸体画を描くまいと思う。生活はもっと苦しくなるだろうし、お前も大変だろう。けれども、そうすれば私は、これからずっと、自由に、心に思うものだけを描けるのだ」。ルメールは言いました。「覚悟はできています。お考え通りなさいませ」。この時から、すべての制約や束縛から解き放たれて、田園をテーマにした絵画に専念するようになりました。

〈続く〉

# ニチニチソウ

## 日日草・日々想



く変わらないもの

年が変わって、新しい一年の始まりです。今年、平成時代は三十年で幕を閉じ、新しい元号に変わるといふ大きな変化があります。昭和の後半に生まれ、これまでの人生の大半を平成に生きてきたので、この節目を迎えるにあたって、時代を思い返しつつ、色々なことを思い巡らしていました。

私の青春時代もそこにあつた平成は、元号に象徴されているように、平らかにあることが願われました。就職なども安定志向で、専門職や公務員の人気が急上昇した世代です。けれども、それとは裏腹に、社会や暮らしは激変・激動の時代だつたと言えるので

はないでしようか。

グローバル化する中で、他国の出来事にも影響されつつ、日本の国内だけでも、政治・経済・教育・医療・福祉・産業：あらゆる面において、右に揺れ、左に揺れし、悪事の横行を見ながら彷徨つてきたように思います。災害も多発して、多くの人々が傷つき、悩み、不安を抱えながら、あるいは死に生かされ、あるいは生きるこの意味を見いだせず死の淵に立つてきました。この現実をどう受け止めたら良いのでしょうか？

情報化社会と言われる日本の情報過多は混乱を極め、多様化する価値観と判断基準は日毎に（と言つていいほど）どんどん変わりゆく暮らしの中で、本当に必要としているものを知りながら、またはそのために気づかず、真に求めているものではない別のものが溢れすぎていて、その必要を満たすものにすり替えてしまつていくような気がしてなりません。人が普遍的に求めているもの、それは、変わらない確かなものです。確かさは、どのような中にあつても自分がぶれ

ずに生きることを支える基盤だからです。

聖書は力強く語ります。

「すべての人は草、その栄光は、みな野の花のようだ。草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことは永遠に立つ。」

唯一絶対の信頼を置いて、生きる指針とできる変わらない確かなもの：それは、この世界のすべてを造られた創造主なる神様のおことばなのです。

ある意味で、人ほど（言うことややることにおいて）変わりやすく信用に値しないものはないと言えるかもしれせん。その人間から生まれ出る思想や言葉、成す業には、確かさが欠けていても仕方がないのです。

この年、改めて「永遠に立つ神のことば」に根差して歩んでいけるようにと願います。そして、変わらない確かなものを求めている方が、聖書と出会い、求めているものを手にすることができましようにと心から祈ります。



暮らしの  
くすりばこ



《今月の処方箋》

◆乾燥対策と風邪予防◆

風邪やウィルス性疾患の流行する季節となりました。風邪をひきやすくなるのは、空気が乾燥していることと大きく関わっています。

ウィルスは湿度の高い状況では、すぐに地面に落下します。ところが、湿度が40%以下になるとウィルスの水分が蒸発して軽くなるため、落下速度はゆるやかになり、約30分間、空気中を漂っているそうです。空気が乾燥すると、喉の粘膜も乾燥して炎症をおこしやすくなり、ウィルスを防御する力が衰えてきます。こうしたことが重なって、空気が乾燥する冬には風邪をひきやすくなってしまうのです。

室内の湿度は40～60%を保つのが理

想的です。特にインフルエンザウィルスに対しては、湿度が50%以上に保たれていることで、活動の抑制が期待できます。

すでに実践されている方も多いと思いますが、空気の乾燥に対しては、

- 洗濯物や濡れタオルを部屋に干す
  - 植物を置く(蒸散の作用)
  - 加湿器を使用する
- そして、喉の乾燥に対しては、  
●マスクを着用する

なんと言ってもこれが一番です！

呼吸には水分が含まれているので、マスクの着用自体が加湿になり、喉に良い環境をつくります。もちろん、ウィルスや細菌の侵入を防ぐこと、周りの人とうつさないことにもなります。「10万10万、ハクシヨン100万」と言いますが、たった1回の咳やくしゃみで、これだけの飛沫をばらまいてしまうのです。エチケットを守りつつ乾燥対策をして、風邪をひかずに過ごしましょう。



今年もよろしく♪

★ハレルヤキッス★

第3土曜日

1月20日

おまちしています



路上生活者支援

山谷(やま)農場

今年もよろしくお願ひします

継続して、安定した支援、物資の提供ができるよう、お米や海苔、梅干し、保存食、書き損じや余った年賀はがき等、ぜひお譲りください。少量でも構いません。集まると大きな力になります。



〈連絡先〉 藤田 寛  
☎ 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384-1302 南牧村大字海ノ口966-15 南牧村社会福祉協議会 気付 山谷農場

\*着払い送付はご遠慮ください。

\*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局(藤田) 小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ: 下振替〇〇二四〇・四・五三七九六